

日時：平成29年7月18日

午後2時から午後3時30分まで

会場：瀬戸市役所 4階 庁議室

委員の参加者数：委員15名中12名参加

(欠席：磯部委員・大野委員・加藤靖代委員)

【議事】

1 議題

(1) 子ども・子育て会議副会長の選任について

事務局推薦により、名古屋学院大学の中野委員で承認されました。

(2) 平日日中の教育・保育事業の提供状況及び確保方策について

資料1に基づき説明

(委員からの意見)

○小規模保育施設について、平成30年度早期の開設とあるが、山口地区でできる見通しはあるのか。

(事務局 回答)

民間保育園の会議では開設に向けての考えを伝えており、場所を市で決定すれば検討することは可能との回答は得ている。それ以外にも窓口で、機会があれば受託したいとの申し出がある事業者もあるので、場所が決まれば可能であると考えている。

ご意見等の後、1議題(2)は承認されました。

(3) 子ども・子育て支援事業計画の再構築と会議体制の見直しについて

第6次瀬戸市総合計画(概要版)冊子及び資料2に基づき説明

(委員からの意見)

○会議の体制として子ども子育て会議のメンバーは今後どう関わるのか。事業部会はどのような構成になるのか。

(事務局 回答)

事業部会は、仮に「保育」「児童福祉」「子どもの貧困」などが挙げられる。委員のみなさまにも事業部会に参画してもらうことを考えている。

臨時委員としては、子どもの貧困であれば学習支援や子ども食堂などに携わる人に参画してもらうようなことを考えている。

ご意見等の後、1 議題（3）は承認されました。

2 その他

（1）新しい小中一貫校の整備に向けた基本構想について

資料に基づき深見教育長が説明

（委員からの意見）

○全国的に小中一貫校という取り組みはどのくらいあるのか。

（教育長 回答）

今急速に増えている傾向にあり、愛知県は飛島村。名古屋にもある。三重県・東京都・静岡・京都にもある。

ただし5小学校2中学を統合するという規模のものは、全国でも珍しいケースになる。

○議員や職員なども視察等に行かれているのか。

（教育長 回答）

先日も東京の北区に視察に行っている。北区は小中一貫校のみでなく一貫教育にも熱心に取り組まれ先進地として得るものがたくさんあり、このように他市の事例を多く学び、取り入れていきたいと考えている。

（2）愛知子ども調査について

資料3、資料4に基づき説明

（委員からの意見）

○市内に学習支援はあるのか。

（事務局 回答）

生活困窮世帯向けの学習支援として、週1回開催している。

○午後10時以降の就業状況の設問は、この比率で対策等を考える必要はないと思うがいかがか。

（事務局 回答）

今回は、愛知子ども調査の設問を市と県で比較したデータをお示しした。

今後、子どもの貧困への対策も重要であると考えているので、ご意見として承ります。

○深夜労働については、その間親の代わりに祖父母でもだれか見ている人がいるのであれば大きな問題ではないと思うが、そのあたりの調べはあるのか。

(事務局 回答)

愛知子ども調査の設問の中には、家族構成や学校が終わった後どこで生活しているかといった設問もあったので、分析することによって結果として分かるものと考えている。

○こども食堂の定義はどういうものか。また瀬戸市の状況はどうか。

(事務局 回答)

ボランティアや NPO 法人などが、子どもたちに安価に食事を提供しているもので、子どもがひとりでごはんを食べるのではなく一緒に食べる場所を提供する活動であると認識している。

瀬戸市内には3団体あることを把握している。

○瀬戸市のアンケート結果は、瀬戸市全体を現しているような結果が出ているのか。

(事務局 回答)

県のアンケートは無作為に抽出した各学年の10%で、瀬戸市内でも何校か抽出し610名中470名回答であった。

○瀬戸市の中でもいろいろな地域があるので、瀬戸市の平均的な数値になっているのか。

(事務局 回答)

調査結果を分析して、検討していきます。

○瀬戸市の調査結果からの貧困率は出してあるか。

(事務局 回答)

算出していない。今後算出してみます。

今回は、集計データを比較しただけなので、今後、クロス集計などの分析を行い、瀬戸市特有の課題などの整理を進め再度会議で検討することとした。

(3) 放課後児童健全育成事業の提供状況等について

資料に基づき説明

○品野台小学校の子は下品野小学校からの迎えが来て、利用できると聞いているが。

(事務局 回答)

学童の子を迎えに行っている。また、本年から放課後学級の子どもも利用している。

○放課後学級で人数が多いところがあるが、待機はないのか。

(事務局 回答)

例えば、東山小学校などはとても人数が多く溢れてしまうことが予想されたため、事前予約制をとっている。予約が満員となるとお断りすることもあるが、現在は落ち着いてきて、解消していると聞いている。

○同じ学校内で、児童クラブと放課後学級を一体型で行っているところがあるが、目的の違いは何か。

(事務局 回答)

児童クラブは、生活の場の提供で時間も午後7時まで、宿題を見たりしてある程度の費用がかかるが、放課後学級は遊び場の提供で午後5時30分まで、傷害保険料を負担してもらっている程度といった違いがあります。

○その違いを子どもたちは理解できない。児童クラブと放課後学級が隣で、遊びの内容などが違っていたりすることで、子どもたちは隣へも行きたくなる。

(事務局 回答)

そのようなご意見は、確かにいただいています。検討課題だと思っております。

○一体型で運営している学校は何校あるのか

(事務局 回答)

市内に8校あります。

(4) 「せとっ子すくすく相談」について

資料に基づき説明

(5) 「平成29年度の利用者支援事業」について

資料に基づき説明

(委員からの意見)

○祖父母のための応援講座の目的を教えてください。その時の祖父母の反応などはどうだったか。

(事務局 回答)

今の子育てと昔の子育ての違いがあり、孫と関わる不安を抱えている祖父母がいるということで企画をしました。

参加した方は、先生の経験豊富なお話に、熱心にメモを取られるなど関心が高く、多くの質問が寄せられました。

「孫育て応援手帳」も作成し講座などで配布しました。

(6) 瀬戸市地域福祉計画（第2次）策定に係るアンケートの実施について
資料に基づき説明